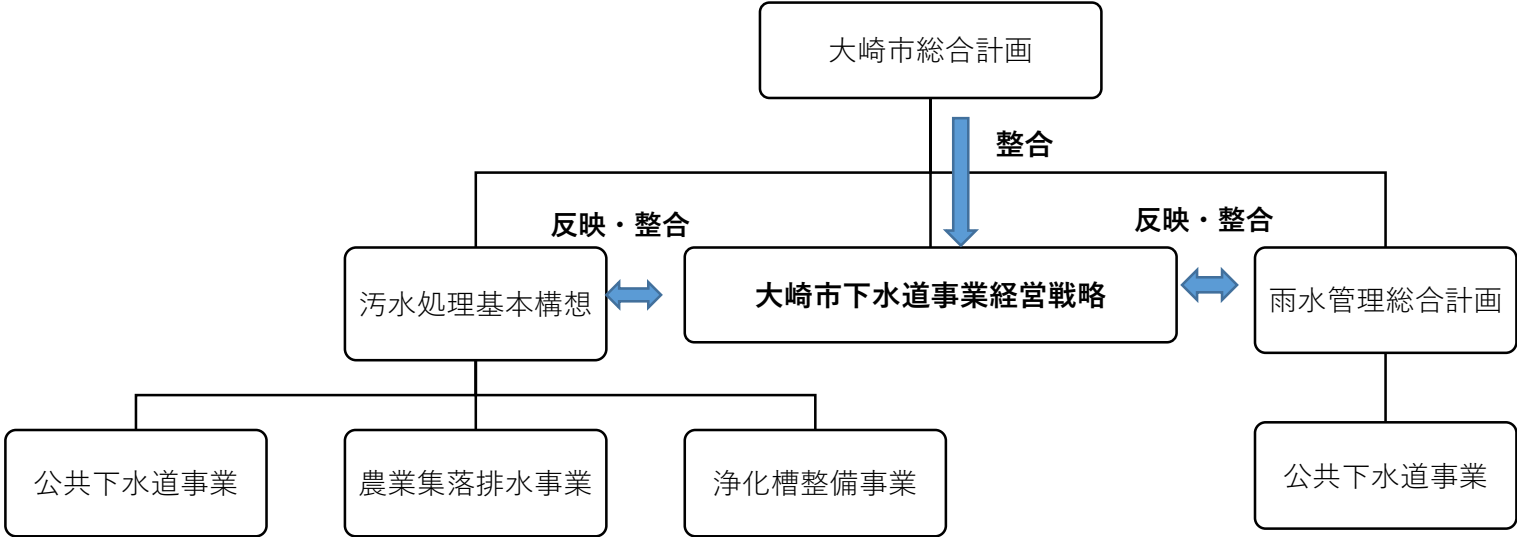


大崎市下水道事業経営戦略の位置づけ



これまでの取り組みと経営環境

- ・ 令和2年度水道部との統合による事務の共通化や窓口統合，職員数減などによる経費削減
- ・ 水洗化促進（接続勧奨）による収入増加への取り組み
- ・ 公設浄化槽管理方法の見直しによる委託料削減



- ・ 人口減少や節水型機器の普及による下水道使用料の伸び悩み
- ・ 電力価格の高止まりや物価高騰，流域下水道維持管理負担金臨時改定による経費増加

経営戦略改定の基本的考え方

- ・ 現経営戦略の検証
- ・ 経営改善目標の設定
- ・ 令和6年度中の改定，公表

受益者負担のあり方について

- ・ 現経営戦略では令和8年度に使用料改定を見込んでいる。経営状況や今後見込まれる事業環境から，収支構造適正化のために，引き続き収入増と経費抑制に努めつつ，早期の下水道使用料改定の必要性も含め，経営戦略の改定にあわせて受益者負担のあり方について検討を進める。

第2期経営戦略の内容（案）

計画期間 令和7年度～令和16年度

- 1 大崎市下水道事業の概要
- 2 現経営戦略の検証
- 3 水洗化人口等の見通し
- 4 経営の基本方針
- 5 投資財政計画
（収支計画・原価計算）
- 6 策定後の検証等について

改定する経営戦略で検討する主な事項

- ・ 経営改善の目標とその実現のためのロードマップ
- ・ 原価計算による下水道使用料
- ・ ストックマネジメント計画，雨水管理総合計画，汚水処理基本構想による建設改良

スケジュール(案)について

大崎市下水道事業経営戦略改定に係るスケジュール

区分	令和 5 年度		令和 6 年度											
	R 6											R 7		
	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
部内作業	経営戦略改定作業													
庁内調整	主に繰入金について協議・調整													
上下水道事業運営審議会			経営戦略改定について随時審議(5回)											
				諮問 第1回		第2～3回	第4回			第5回	最終案 答申			報告
政策調整会議								中間案			最終案			
庁議									中間案			最終案		
議会				説明			説明			中間案	最終案			
パブリックコメント														

※上下水道事業運営審議会では、経営戦略改定の方向性を審議いただき、下水道使用料改定の必要性がある時は、そのシミュレーションを含む中間案を取りまとめることとする。

経営戦略の検証と下水道事業の現状

今後も人口減少による排水需要の減少、物価高、老朽施設更新など、厳しい事業環境が続くものと認識しており、収支構造の適正化の取り組みが必要となっている。

項目	検証等
行政区域内人口	各年度、大崎市地方創生総合戦略の将来人口を下回っている。
水洗化人口	古川地域での公共下水道新規整備を除き、各事業、処理区は概成しているため、新たな接続による増よりも世帯人数減少が上回った。公設浄化槽設置申請数も減少している。令和4年度では前年度より減少した。
下水道使用料収入	水洗化人口減少とともに有収水量も減少しており、経営戦略で見込んだ収入を下回っている。
経費回収率	令和2年度の法適用以降、経費回収率が80%台にとどまっている。
一般会計繰入金	基準外繰入を含め毎年度繰入を受けている。内部留保資金残高と企業債元金償還所要額から高水準が続いている。